

質問者氏名	質問事項	質問要旨
11 番 遠藤 秀則	1 公共物の統廃合について	<p>行財政の逼迫に直面をし、また大涌谷の噴火で観光客の大幅な減少によりサービス業は元より、多くの業界、中小企業は計り知れないダメージを受け、死活問題にもなっています。このような現状では、今年度の税収においては大幅な収入減が目に見えています。</p> <p>そこで、私は再三質問を行ってききましたが、公共物の統廃合について、公共施設マネジメント研究会での調査研究と、10 年間での見直しとお答えを頂きました。また、その中の一つとして、宮ノ下地区をモデル地区として進めるお答えですが、現状を見ますと、9 億円もの収入が足りない中で、今年度の大幅な収入減を思いますと、とんでもない数字となってくるのは周知のとおりと思います。</p> <p>そこで何点かについて質問をさせていただきます。</p> <p>まず 1 点目として、公共施設マネジメント研究会の進捗状況について伺います。</p> <p>2 点目として、現状での統合をどう考えているのか。</p> <p>3 点目として、最終的にどこまで縮小をしていくのか。</p> <p>4 点目として、残していく建造物の維持管理の合理性と歳費削減をどのように考えているのか。</p> <p>5 点目、全山各地域において、見直しを実行することによって、多くの歳出削減ができると思いますが、10 年と言わず、早い実行が問われると思うが、考えを。</p> <p>最後に、住民の安心・安全を最優先に町</p>

		<p>長は考えておられると思います。住民の不安を考えると、財政の改革はぜひともやらなければならない大きな問題だと思います。官民一体となって、痛みを分かち合っの改革に、前向きに取り組んでいただきますよう、強くお願いをします。</p>
--	--	---